

# 2022年度 阪神センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生管理 活動計画書

社長承認 立案  
  
 作成日 2022年4月26日  
 改訂日 年 月 日

## 2021年度の振り返り (2022年3月31日時点)

1.安全・品質・環境・衛生活動結果						
① 車輜事故						
	トラック・トク台数	①年間総走行距離	車輜事故件数	②内) 道路上事故件数	度数率 (②/①*100万)	達成状況
会社	104台	5,165,774	4	2	0.39	未達
協力会社	186台	—	0	0	—	達成
合計	290台	5165774 km	4件	2件	—	—
国土交通省届け出事故			0件			達成
② 労働災害						
	常時労働者数	①総労働時間	災害件数	②休業4日以上	度数率 (②/①*100万)	達成状況
社員	184	461,372	0	0	0.00	達成
直ハト	26	40,747	0	0	0.00	達成
派遣社員	24	—	0	0	—	達成
協力会社社員	186	—	0	0	—	達成
合計	420人	502119 h	0件	0件	—	—
③ 残酒反応結果 (車輜営業所のみ)						
					1件	達成状況
						未達
④ 安全実力度評価結果 (法令)						
					0件	達成
評価時の適合率	93.97%	改善後の適合率	100%	未改善		達成
【次年度持越し課題】						
① 作業計画書の作成、または更新を進める。						
② 事業計画に必要な運転者の確保。						
③ 日報への待機時間の記載もれ。(大型車)						

⑤ リスクアセスメントの実施状況					達成状況
対象営業所数	7営業所	2021年度リスク特定数	10件		未達
⑥ 品質事故					
重大品質事故	目標	0件	結果	0件	達成
品質事故	目標	47件	結果	59件	未達
⑦ CS活動 (トップ診断等)					
目標	100点	結果	100点		達成
⑧ 環境活動					
燃費	目標	5.13 km/ℓ	結果	4.89 km/ℓ	未達
産業廃棄物排出量	目標	34.63t	結果	44.19t	未達
リサイクル率	目標	69%	結果	55%	未達
⑨ 衛生活動					
定期健康診断受診率	目標	100%	結果	100%	達成
有所見率	目標	68%	結果	70%	未達
ストレスチェック受診率	目標	100%	結果	93%	未達

2.安全管理システム実施状況					達成状況
① 点呼システム運用	対象事業所	6営業所	運用事業所	6営業所	達成
② 地区訓練受講者	対象者数	153人	受講者数	8人	未達
③ 乗務認定	対象者数	14人	実施者数	9人	未達
④ 運転適性診断	対象者数	23人	実施者数	19人	未達
⑤ 雇入れ時教育	対象者数	37人	実施者数	35人	未達

**3.社長 振り返りコメント (マネジメントレビュー)**  
 (安全・品質・環境・衛生・CS活動結果に基づく課題)  
 昨年度達成できた項目については継続達成。  
 未達項目については今年度達成できるよう個人に任せず会社全体で取り組んで行かなければならないと考える。

## 2022年度 阪神センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生指針及び目標

**【センコーグループ安全品質方針・目標】**  
 「全てに優先する安全」の精神の下、新規参入会社も含めた全従業員が、持続可能な物流事業の安全基盤確立に向け  
 ◎センコー一流安全活動の革新に取り組み、安全リスク撲滅に向けた安全シナジーの創出、システム活用による  
 予防措置の実践と安全活動の見える化、安全先進技術導入による職場環境の改善、教育方法の革新を行い、  
 コンプライアンスを超えた安全水準を確立している。  
 ◎危険品事業拡大に向け管理体制を拡充し、ローリスク物流サービスを提供できる体制を整え、事業拡大に  
 寄与している。

**1.中期安全目標**  
 ※2026年度 度数率 (道路上事故・休業4日以上労災) 2021年度の25%低減

道路上 車輜事故度数率	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	増減率 (対2021年度)
センコー	目標 0.366	0.348	0.329	0.311	0.293	0.275	-25%
Sk管下グループ	目標 0.710	0.675	0.639	0.604	0.568	0.533	-25%
全体	目標 0.616	0.585	0.554	0.524	0.493	0.462	-25%

**◎ 労働災害**

休業4日以上 労働災害度数率	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	増減率 (対2021年度)
センコー	目標 1.450	1.378	1.305	1.233	1.160	1.088	-25%
Sk管下グループ	目標 1.75	1.633	1.575	1.488	1.400	1.313	-25%
全体	目標 1.658	1.575	1.492	1.409	1.327	1.244	-25%

**2.中計目標**  
 ◎ 車輜事故 ゼロ ※具体的指標：道路上の車輜事故度数率 (0.675)  
 ◎ 労働災害 ゼロ ※具体的指標：休業4日以上労働災害度数率 (1.633)  
 ◎ その他  
 ・各種点呼の完全実施 ・残酒反応 ゼロ

品質	重大品質事故「ゼロ」 (事故件数、貨物事故立替金等は各支店単位で設定する)
CS推進との連携	改善指導事項の改善推進チェックと指導

**【センコーグループHD 環境方針・目標】(仮)**  
 ● HD環境データのガバナンス強化・軌道化【EcoTrack導入(2022年4月～)】  
 ・EcoTrack導入(データ正確性整合性向上・効率化)と部門主導の環境施策・CO2削減施策推進  
 ● HD全体の廃棄物管理のコンプライアンス強化【Pbasis切替導入(2022.10月～)】  
 ・排出事業者(全グループ企業)契約管理精査・運搬事業者(運輸系各社)コンプラ強化  
 ● HD環境データを活用した「有効な環境広報戦略推進」※CO2削減原単位指数  
 ・CDP/東洋経済等メディア対応/IRアプローチ/脱炭素施策・成果の効果的広報  
 ・社内CO2削減目標

HD/CO2削減量 (t-CO2)	2022	2023	2024	2025	2026	新中計5年間合計
単年度目標	4,000	5,000	6,200	7,600	9,200	32,000
HD全体累計	4,000	9,000	15,200	22,800	32,000	

**【中核センコーグループ 環境方針・目標】(仮)**  
 ● 環境施策の具現化・取り組み強化  
 ・Scope1⇒省燃料(環境対応車両)・再エネ燃料化 ・Scope2⇒電力再エネ化・環境対応設備導入  
 ・Scope3⇒廃棄物管理強化・ルーフリサイクル・更生タイヤなど  
 ・社内CO2削減目標

中核SKGroup/CO2削減量 (t-CO2)	2022	2023	2024	2025	2026	新中計5年間合計
単年度目標	1,940	2,420	3,000	3,680	4,460	15,500
中核SKG累計	1,940	4,360	7,360	11,040	15,500	

**【センコーグループ衛生方針・目標】**

方針  
 全従業員の心と体の健康を増進し、生き生きとパフォーマンスが発揮できる、基盤づくりを目指す

目標  
 1. 健康リテラシーの向上 (理解し活用する)  
 2. 心と身体の健康保持増進  
 3. ワークエンゲイジメント(熱意・活力)の向上  
 4. 健康管理体制の強化

対象：健康管理システム連携企業	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度目標
(a) 喫煙率	36.05%	36.14%	35.35%	33.0%
(b) 運動習慣者比率	53.4%	51.4%	53.8%	55.0%
(c) 適正体重維持者率	63.9%	62.2%	62.9%	65.0%
対象人数・対象企業数	14,053人 51社	14,966人 49社	16,613人 51社	—
(d) 高ストレス者率	16.9%	16.5%	17.1%	15.0%
対象人数・対象企業数	16,225人 62社	18,005人 61社	20,561人 66社	—

**【会社安全指針・目標】**  
 車輜事故・労働災害を予防するため、管理者を中心とする営業所の組織力を活用した安全活動を展開し  
 阪神センコー運輸株式会社全体の安全水準を向上する

**1. 目標**  
 1) 車輜事故 ゼロ (協力会社含む) 重点目標：退突事故「ゼロ」  
 【年次重点取り組み：2022年度地区訓練推奨項目】 後退のカリキュラム  
 2) 労働災害 ゼロ 重点目標：後方接触災害「ゼロ」継続  
 【年次重点取り組み：2022年度地区訓練推奨項目】 リフト運転操作カリキュラム(4項目)  
 3) 残酒反応 ゼロ 重点目標：5年連続発生撲滅  
 【年次重点取り組み：入社時教育の徹底】 雇入れ8項目+残酒教育の徹底  
 4) その他  
 ・安全管理システムの完全運用 ・安全実力度評価 法遵守項目：100点

**【会社品質指針・目標】**  
 『全てのお客様に満足して頂く』ことがサービスの基本であると再認識し、物流品質を永続的に向上させるために  
 顧客ニーズの実現を目指した活動を確実に、迅速に行う。

**1. 重大品質事故目標 ゼロ継続**  
 重点項目：①原料系の「誤」のつく事故及び盗難・紛失事故発生撲滅  
 ②品質向上取組推進 P D C A進捗確認を重点に活動

**2. 物流品質事故削減目標**  
 1) 倉庫内事故件数 2021年度比10%削減 18件⇒16件  
 2) 配送(路線)業者事故件数 2021年度比10%削減 41件⇒37件  
 3. CS評価 (各職場単位) 2021年度下期トップ診断結果1%向上 (満点⇒維持)

**【会社環境方針・目標】**  
 地球規模の課題解決と持続可能な社会と経済成長の実現に向けた、サステナブル経営を推進し、  
 中長期的な企業価値向上へつなげて行く。

**(目標)**  
**1.環境関連ガバナンス強化・コンプライアンス・企業価値向上**  
 1) EcoTrack導入(環境データ正確性整合性向上・効率化)と部門管理者の環境施策・CO2削減施策推進  
**2. 省燃料活動の推進**  
 1) 先進環境車両の導入、燃料消費量削減 2021年度比 ▲2.5% (4.89km/ℓ ⇒ 5.01km/ℓ)  
**3. 資源循環活動の推進** 2021年度比 ▲1.0% (44.19t ⇒ 43.75t)  
 1) 「ルーフサイクル」に対応、廃棄物削減とリサイクルの増加  
 2021年度比 2.0%向上 (55% ⇒ 56.1%以上)  
**4. その他** ①産廃マニフェスト交付実績 (4/1～3/31分) の行政報告 (6/30締切)  
 ②職場単位の環境取組推進(廃棄物削減、植樹・環境保全、再生タイヤの使用)

**【会社衛生方針・目標】**  
 従業員とその家族が日々心身の健康を保ち、元気で活気に溢れた豊かな職場から、  
 確かな信頼と満足創造する『健康企業集団』を目指す

**(1) 目標 (4月1日現在) 健康診断受診対象者：206人**  
 1) 定期健康診断の100%実施 2022年度100%受診  
 2) 有所見者率低減 2021年度比2%低減 (68.49%)  
 3) ストレスチェック受診率 2021年度対象者93%以上受診  
 ■健康増進活動を推進し、2022年度、メンタルヘルス教育の実施⇒管理者全員参加。  
 ■各営業所の衛生担当者を窓口として定健・特保・二次健診・深夜業の充実を図る

2022年度 阪神センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生管理 活動計画書

重点実施項目	内容	目標	実施部門	スケジュール																備考						
				4	5	6	第1四半期	7	8	9	上期計	10	11	12	第3四半期	1	2	3	年間計							
安全管理活動				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
1. 全社・支店活動指針	①全社安全衛生委員会・職場安全衛生会議で従業員の周知 ②掲示物と周知度確認（協力会社まで周知）	全員周知 100%掲示	本社/営業所 営業所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	要周知記録	
2. 会議体	①支店安全衛生会議に参加(詳細はメモ参照) ②エリア安全担当者連絡会議に参加 ③阪神センコー運輸安全衛生委員会の開催(安全MS、安全・健康管理システムの適正運用進捗確認) ④職場安全衛生委員会<法定委員会>〔職場安全会議〕の開催、会議体議事基準に基づく	毎月開催 毎月開催 毎月開催/DB登録 毎月開催	安全担当 安全担当 本社/安全担当 営業所/所長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	関係者出席	
3. 職場巡視	①職場安全巡視の実施(不安全行動・状態、異様現象の是正指導、送り出し教育実施確認) ②職場安全巡視の実施(安全管理者・衛生管理者・安全衛生推進者) ③CS担当部長・役付役員のトップ巡回実施(CS(5S)フィッリスト(あるべき姿フィク)によるフィク) ④CS支店長トップ診断実施(5S定点・CS(5S)チェックリストによる是正指導)	毎月 週1回/毎日 四半期毎 各1回/上期・下期	安全担当 所長/職長/担当 本社/営業所 本社/安全担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	巡回記録	
4. 技能コンテスト (コロナ影響で3/22時点で未確認)	①センコーグループ技能コンテスト2022の支援 ②各種外部技能コンテストへの出場者選考と教育訓練(ドラコン・リフコン)	要請都度 要請者以上	本社/営業所	選考					開催																	
5. 特別安全強化運動	①特別安全強化期間(全社一斉・労使パトロールの実施、強化実施内容の確認、危険品調査と確認) ②各営業所重点実施策の構築【垂れ幕掲示・壁新聞発行によるエリア事故の水平展開】	7・12・1月	本社/営業所/関係会社		計画	準備			開催																	
6. 各経営トップによる安全衛生管理 ・自主運営体制の構築 安全衛生マネジメント運用	①組織図作成による体制確認(届出含む)と各種DBマスターの整備 ②安全品質環境衛生管理(DBクラウド)システムの活用、問題意識の共有と改善の共有 ③安全実力度評価⇒自主評価・本評価 ④《事故・放火防止》セキュリティカメラ監視と定期巡回によるチェックで是正 ⑤災害性・有害性、危険品リスクアセスメント活動の推進(各DBの活用によるリスク低減)	都度 毎月 都度	安全担当 本社/営業所 該当営業所/ 安全担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	課題確認		
7. 安心して働ける企業になる ための環境整備 (健康起因事故の予防含む)	①HHK活動の推進とフィードバックの徹底 ②労働時間管理の徹底による過重労働防止(超時間医師面談実績登録管理DBの活用) ③健康管理システムDB活用による(重症者管理)進捗確認 ④先進安全技術の導入(リフレコ(wi,fi)管理)・ブルーライト・ラインライト・感知センサー) ⑤重大事故防止対策教育 ※労災事故：リフレコ映像を活用した動画KYの推進	0職全員/都度 都度 毎月	安全担当/所長 所長/職長 所長/職長/看護師 所長/担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8. 教育訓練の充実 ※教育訓練計画書へ落とし込み ※法的資格能力管理表を確認 【地区訓練必須項目】 リフト(後退時の運転姿勢) 車両(後退のカリキュラム)	①法的要求事項関連教育(配転、必要資格、能力向上、緊急事態想定訓練含む) ②必要資格の充実と安全管理者研修(新任・谷間教育) ③緊急連絡通報訓練(総合防災)および安否確認訓練の充実(BCP対応) ④トレーナーを活用した乗務認定・地区訓練・事故惹起者・協力会社訓練の充実 ⑤新人教育カリキュラムの充実と横展開の推進(雇入れ、運転適性検査からの新人教育) ⑥安全作業手順書教育の充実(新規作成、見直し、改訂、定期教育) ⑦教育管理システムの活用推進(適性なデータ更新と実績管理の充実で見える化推進)	都度	本社/営業所 本社/営業所 各担当者 安全担当/トレーナー 各担当者 各担当者 各担当者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	安否・緊急通報	
品質管理活動																										
【定量目標数値】 ⇒品質事故クレーム	前年件数の10%削減 ⇒品質事故クレーム	59件 ⇒ 53件 (⇒件数の見直しを実施した場合)		4	4	4	12	0	4	5	4	25	0	5	4	5	14	0	5	4	5	53	0			
【重点プロセス目標課題】 ⇒輸送中の品質事故削減(車両)	前年件数の10%削減 ⇒輸送中の品質事故削減(車両)	41件 ⇒ 37件 (⇒件数の見直しを実施した場合)		3	3	3	9	0	3	3	3	18	0	3	3	4	10	0	3	3	3	37	0			
【予防処置(HHK報告) 進捗確認表】 【是正処置 進捗確認表】※発生した件数・実施した件数を記入				164	164	164	492	0	164	164	164	984	0	164	164	164	492	0	164	164	164	1988	0			
品質目標達成のための具体的 計画項目	(例)① 様々な事例をもとに朝礼時・点呼時に注意喚起を促し予防に努める (例)② 事故発生者にヒヤリングし、本人に原因を考えさせる。 (例)③ 事故発生都度の会議体開催と是正、予防に繋げ再発防止を図る (例)④ 実態確認によるパトロールと是正・指導後適正を見極める (例)⑤ 協力会社も含めた会議体：発生事故に対する原因・対策の報告	日々 都度 1回/月 都度 都度	所長/職長 所長/職長 所長/職長 所長/担当者 所長/担当者																							
1. 品質事故発生予防と再発防止	①全社安全衛生委員会での社内事故件数、事故事例の確認 ②作業手順書の見直し・改訂・リスクアセスメントの実施確認 ③品質事故クレーム管理DBにおける適切な入力 ④品質事故クレーム管理DBにおける未指示・未入力の進捗管理、是正、フォロー ⑤他部署発生した重大品質事故の周知と事例からの関連対策を検討・実施 ⑥手順書読み合わせ教育(新規、作業変更時、新人、定期等)実施確認・支援 ⑦《窃盗防止》セキュリティの定期巡回によるチェックで是正 ⑧セキュリティ教育(懇談、会議等)実施確認・支援	毎月 2回/年 有効性の確認 毎月 発生都度 都度 都度 2回/年	安全担当 職長/安全担当 所長 本社 営業所/担当者 営業所/担当者 本社/営業所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2. CS関連	①大阪5S活動実践報告(定点撮影チャート)DB活用による改善や工夫事例の普及で100点を目指す ②職場イメージ・ESアップの推進(3S・挨拶・防虫・防そ・従業員満足度の状況)	毎月 都度	本社/営業所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
環境管理活動																										
1. 省エネルギーとCO2削減に関する コンプライアンス自社活動 ※国連グローバルコンパクト賛同署名 ⇒SDGs経営推進	①産廃マニフェスト交付実績(4/1~3/31)の行政報告(6/30〆切) ②環境データのガバナンス強化(各営業所環境データの正確整合性向上・効率化) ③環境データ、業務用空調・冷蔵・冷凍機器点検(簡易:3か月、定期:3年)結果EcoTrack登録 ④省電力(LED化・設備見直し費用対効果検証)省燃費(環境車・アイドルストップ)活動の推進 ⑤資源循環⇒廃棄物減量とリサイクル率向上(DB登録)、再生ゴミ袋並びに再生タイヤ活用	5月末 都度	本社/営業所 営業所	準備	支店報告	官庁報告																				
衛生管理活動																										
1. 健康リスクの低減策の推進	①禁煙活動の推進(2022年度、労働時間内の完全禁煙を検討) ②禁煙活動の推進強化(禁煙チャレンジエントリー) ③身体活動の推進(健康経営の推進) ④長時間労働者把握と産業医面談実施(就労ネットによる超長時間労働の監視・改善) ⑤産業医講話と必要な箇所の職場巡視から予防活動への展開 ⑥コロナ対策と夏期(熱中症、食中毒)冬期(ノロ・インフル)通年(腰痛・高血圧)対策の実施	都度 毎月	本社/営業所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
2. 衛生教育	①管理者、新入社員、配転者へのセルフケア教育の実施 ②メンタルヘルス活動の推進(ストレスチェックの実施・メンタルヘルス教育実施等) ③禁煙の推進、受動喫煙の防止と健康障害防止教育の実施(DVD・ポータル活用) ④特定保健(生活習慣病、メタボ)健康推進担当者の役割(保健指導の調整・実施確認) ⑤ストレスチェックの実施結果(HSS)から不良者の対応強化、厚労省「心のむすび」の推進	都度	産業医/看護師 産業医/看護師/営業所 産業医/看護師 保健師 産業医/看護師	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外部活用	
3. 健康診断 ※各事業場の衛生管理者配置	①健康診断完全実施(定期健康診断・特定健康診断・深夜業健診)と受診予約管理による受健効率化 ②健康診断事後措置の確認(産業医による診断結果の確認、二次健診対象者の受診要請、確認) ③健康管理システムの進捗確認(定健・深夜業・二次健診・ストレス・受診状況確認)	100%	所長/管理者/担当 所長/看護師 看護師/健康推進担当	準備	準備	定期			実施	定期	実施	定期	実施	定期	事後	事後					特定	深夜	特定	深夜	事後	特保1月以降